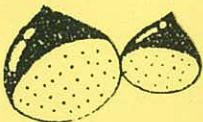


1996年10月発行 第3号

つちや通信



CASH RADAR セミナー開催報告

この度、突然のセミナーご案内の訪問に対し、快く迎えて頂き、又、その主旨に賛同して頂きましたことを紙面をもってお礼申し上げます。去る9月18、19日のセミナーには両日合わせて46名の参加を頂きまして、和やかな雰囲気の中で開催することができました。会場で頂きましたアンケートの中で経理事務の革新・合理化の必要を感じているとの回答は94%もあり、又下記の項目を上位3位までを集計すると次のような結果が出ました。

○ 経理処理でお困りの点

- | | |
|-------------------|-----|
| 1. 転記・計算が面倒 | 29% |
| 2. 最新の経営状況が把握出来ない | 27% |
| 3. 時間がかかる | 18% |

○ キャッシュレーダー導入で実現できると思われる効果

- | | |
|------------------------|-----|
| 1. 伝票や帳簿の手書処理からの開放 | 31% |
| 2. 帳記・会計の知識がなくても経理ができる | 23% |
| 3. 知りたい時に最新の経営状況が見える | 16% |



セミナー開催風景（9/18 福山会場）

いております。今後も職員一同、力を合わせて、皆様の期待にそえるよう努力していきますので御支援のほど、よろしくお願い致します。

14件の申込を頂

見直しませんか？あなたの保険

生命保険は、たいへん難しく理解しにくい。又、いろいろと加入はしているが「今、どういう契約内容なのか分かっていない。」という声をよく耳にします。

事実、専門家からみても、次から次へと新商品の開発、多様なニーズ、複雑な組み合わせ、税法との関係等たいへん難しいと思います。

例えば、よく見かけるケースとして、保障が、ある一定の年齢で急激に減るケース。保険料が更新時に大幅に上がるなどを知らないケース。転換、新商品の名のもとに加入、解約を繰り返すようなケースです。

又、法人契約で加入していた成人病の為の治療費が実際には会社の雑収入となり、個人の治療費の為にはならなかったケース等、思い違いや認識不足からくる契約者の困った声は限りなくあります。

では、どうすれば皆様はご自身を守り安心することができるでしょうか？

生命保険は終身保険、定期保険、養老保険という保険の組み合わせからなっています。この3つの保険の種類と特徴を少し勉強するだけで、かなりの混乱は防ぐ事ができます。又、ご自身の加入されている保険内容や状況を認識されて、目的と方針を決定されれば

ライフスタイルの変化や、保障額の増減はあるにせよ、決して解約したり、やり替えたりする事はないでしょう。

一度、会社で、個人で、すべての契約を認識されることをお勧めします。そうすればおのずと目的も方針も決まりますし、今後も迷うことなく、はっきりとした判断もできるようになるでしょう。

あなたの大切な財産である生命保険を上手に活用しましょう。

(大同生命 高橋)

私共、土屋会計事務所では、お客様の分析のお手伝いをさせて頂きます。時間をかけてゆっくりと最後まで、ご自分がはっきりとした認識と方針を決定されるまで責任をもってお手伝いさせて頂きます。共に勉強しましょう。

☆☆☆税金一口メモ☆☆☆

～～～会費及び入会金の費用～～～

	入会金	会費等
ゴルフクラブ	資産計上	交際費
レジャークラブ	〃	〃 又は福利厚生費
社交団体	交際費	〃
ライオンズクラブ	〃	〃 又は寄付金
協会・連盟・同業団体	諸会費	諸会費

*繰延資産・前払費用となる場合があります。

*個人が負担すべきものである場合は給与となります。